

いちのみやの芸術文化



- 特集「佐吾平事件」の真相と史実と伝承
- 役員紹介・加入団体一覧
- 加入団体の紹介
- これからの催し

2011.6

第17号

一宮市芸術文化協会

佐吾平之碑

「一宮市」には、一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館・一宮市尾西歴史民俗資料館など先人の残した文化を紹介する施設があります。私たちの「身近な文化」を学んでみませんか？

「佐吾平事件」の真相

史実と伝承

事件の概要

現在、一宮市明地に「孝子佐吾平遭難遺跡」(昭和三十年)の碑が建っています「表紙の写真及び写真①」。伝承によれば、天保年間(一八三〇〜一八四四)、明石藩主松平兵部大輔齊宣の行列が参勤交代のため、美濃路起宿から萩原宿に向かっていた時のことです。荷物の運送のため宿場には多くの人足と馬が集まっていました。その時、吉藤村(現一宮市明地)出身の馬子(馬を使って荷物運送する者)である佐吾平の馬が暴れ、行列を乱す事件が起きました。そのため、佐吾平が斬捨てられたとされます。佐吾平は母親想いで知られ、母親は佐吾平の遺体

の前で泣き伏しました。

この事態に対し、尾張藩は明石藩に抗議。以後、領内の通行を禁止し、明石藩は夜に葬列で通行したといわれます。この話は『朝日村誌』(昭和三十八年)や『一宮市萩原町史』(昭和四十四年)等にも記され、美濃路に残るエピソードとして今日まで伝わっています。ところが、実際にあった事件が否かまったく分かっていません。武士には「斬捨御免」の特権がありました。しかし、むやみに人を斬捨てることは許されていませんでした。

松平齊宣の通行はあったのか？

松平齊宣は十一代将軍徳川家斉の二十六年として文政八年(一八二五)に生まれ、文政十年に明石藩主松平齊韶の養子となりました。その後、天保十一年(一八四〇)に十六歳で八代藩主に就任しましたが、天保十五年(一八四四)六月二日に二十歳という若さで急死しました。在任は四年程で、この間に事件が発生したことになります。当時、起宿の脇本陣兼船庄屋である林家には江戸時代中期から明治維新までの記録が残されています。しかし、松平齊宣の通行は記されていません。大名の木曾川の渡河には一定の船と人員が必要で、さらに、



①「孝子佐吾平遭難遺跡」碑
一宮市明地



▶ 明石城

当時の尾張藩主徳川齊莊は齊宣の異母兄で親戚関係でした。このような場合、尾張藩の張藩の役人が木曾川に詰め渡河の準備、接待を行うため、必ず記録に残るはずですが、また、明石藩側の記録にも、齊宣が明石に入った形跡はありません。そのため、齊宣は一度も国入りすることなく、江戸で生涯を終えた可能性が高いと思われます。

起宿に泊まった 松平齊宣の遺体

天保十五年四月二十五日、齊宣は幕府より明石への「就封」(帰国)を許可されました。しかし、病気のため、すぐに江戸を発つことはできず、六月二日、二十歳の若さで亡くなりました。明石藩主は亡くなると菩提寺である明石の長寿院に埋葬されました。そのため、江戸から明石まで遺体が運ばれました。六月二十三日に、一行は起宿に宿泊し、翌日、木曾川を渡りました。

これを裏付ける史料として、明石藩主のご遺体の通行を記録した古文書史料が起宿にあります「写真②」。この史料の冒頭の三行には六月二十四日の寅の下刻(午前五時

▶ ②ご遺体の通行を記録した古文書



冒頭三行の翻刻文

「六月廿四日寅下刻御渡船
松平兵部大輔様御遺骸御上り
是明石様也」

二十分(六時)に、齊宣の遺体が木曾川を渡ったと確かに記載されており、藩主在任中において齊宣の美濃路通行はなく、確認できるのは遺体の通行のみです。しかし、伝承が残っていることは事実です。今後はその形成過程や伝承の系譜を検討することが必要だと思われます。

一宮市尾西歴史民俗資料館

学芸員 宮川充史

一宮市芸術文化協会役員

※5・6ページに加入団体一覧表を記載します。

役職名	氏名	備考
名誉会長	谷 一夫	一宮市長
会長	林 英夫	元尾西市教育長
副会長	加藤 昌義	同派会
	不破 皓	尾西ウインドオーケストラ
	寺西 洋二	木曾川絵画同好会
会計	小島 祥子	一宮音楽家協会
	細井 進	神道一刀流尾西剣詩舞会
監事	竹内 広	木曾川ライトソングクラブ

※左表は各部門選出の理事一覧表です。

文学部					部
詩部門	狂俳部門	川柳部門	俳句部門	短歌部門	部門
					部長
青木 小代子	太田 康直	植田 喜久男	坂井 斉	山本 光位	氏名
一宮現代詩協会	一宮狂俳壇連盟	一宮川柳社	一宮市民俳句教室	真清短歌会	団体名

文社化部会			芸能部		音楽部						美術部					部		
社会文化部門	華道部門	茶道部門	芸能部門	舞踊部門	管弦楽部門	吹奏楽	器楽部門	声楽・合唱部門	吟剣詩舞部門	謡曲部門	邦楽部門	写真部門	書部門	彫塑部門	デザイン・工芸	洋画部門	日本画部門	部門
																部長		
柳原 たづ子	堀 美美子	岩田 宗晋	木全 修	佐々 智恵子	浅井 英仁	堀田 清子	久野 以早夫	木野 敏夫	森 恒夫	小川 統山	菱田 繁雄	則武 穹	鵜飼 辰郎	高山 悟	丹羽 桃慶	桃墨会		氏名
一宮アーティフィシャル フラワー協会鶴の会	一宮華道連盟	茶道裏千家	一宮民俗芸能連盟	一宮舞踊協会	一宮市民吹奏楽団	清の琴・ロマンスハーブ	一宮音楽家協会	雅芳流嶋邦吟詠会	竹石会	一宮三曲協会	中日真澄クラブ	社団法人中部日本書道会 一宮支部	一宮美術作家協会 ／デザイン・工芸部・彫塑部	一宮美術作家協会 ／洋画部				団体名

加 入 団 体 一 覧

部	部 門	団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所
文学部	短 歌 部 門	真 清 短 歌 会	毎月第2日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
		青 の 樹 短 歌 会	毎月第1土曜日：午後1時30分～ 尾西生涯学習センター
	俳 句 部 門	一 宮 市 民 俳 句 教 室	毎月第4日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
		濃 美 一 宮 俳 句 会	毎月第4木曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
		北 方 俳 句 会	毎月第1水曜日：午後1時～ 北方公民館
		葉 栗 俳 句 教 室	毎月第2火曜日：午後1時～ 葉栗公民館
		本 町 俳 句 会	毎週金曜日：午後1時～ 大志公民館
		き き よ う の 会	毎月第1・3木曜日：午後1時～ 大志公民館
		千 秋 老 人 俳 句 ク ラ ブ	毎月第1木曜日：午後1時～ 千秋公民館
		神 山 女 性 句 会	毎月第1・3土曜日：午後1時30分～ 神山公民館
		浅 井 土 筆 句 会	毎月第3木曜日：午後1時～ 浅井公民館
		尾 西 牡 丹 会	毎月第1・3土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター
		尾 西 句 会	毎月第2金曜日：午後1時～ 尾西南部生涯学習センター、第3土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター
	尾 西 佛 手 柑 句 会	毎月第2日曜日：午後3時～ 応蓮寺	
	一 宮 市 尾 西 市 民 俳 句 会	毎月第3土曜日：午後1時30分～ 尾西歴史民俗資料館	
	尾 西 新 樹 会	毎月第1月曜日：午後1時30分～ 尾西生涯学習センター	
川 柳 部 門	一 宮 川 柳 社	毎月第4日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター	
狂 俳 部 門	一 宮 狂 俳 壇 連 盟	毎月第2土曜日：午後1時～ 葉栗公民館	
詩 部 門	一 宮 現 代 詩 協 会	事務局へお問合せください。	
	一 宮 漢 詩 瀟 聲 會	毎月第1火曜日 第4土曜日：午前10時30分～ 豊島図書館	
美術部	日 本 画 部 門	一宮美術作家協会/日本画部	事務局へお問合せください。
		桃 墨 会	毎月第2・4土曜日：午後2時～ 一宮スポーツ文化センター、第1・3水曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター
	洋 画 部 門	尾 西 作 家 協 会	事務局へお問合せください。
		一宮美術作家協会/洋画部	事務局へお問合せください。
		尾 西 絵 画 ク ラ ブ	毎月第1日曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター
		彩 の 会	毎月第1・3火曜日：午前9時30分～ 尾西生涯学習センター
		水 絵 の 会	毎月第1・3金曜日：午前10時～、第2土曜日：午後1時～ 尾西南部生涯学習センター
		グ ル ー プ 絵 こ こ ろ 三 美 会	年間約30回：1回2時間 三岸節子記念美術館
		楽 し く 描 こ う 会	月2回 土曜日：午前9時30分～ 尾西生涯学習センター
		尾 彩	毎月第1・3土曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター
		ポ ビ ー の 会	毎週水曜日：午前10時～ 講師宅
		尾 西 ガ リ バ ン パ ン の 会	毎月第2・4金曜日：午前9時30分～ 尾西南部生涯学習センター
		パ レ ッ ト 会	毎月第2・4木曜日：午前10時～ 尾西南部生涯学習センター
		木 曾 川 絵 画 同 好 会	毎月第2・4日曜日：午後1時30分～ 木曾川公民館北館
		ブル シ ャ ン プ ル ー	毎月第1・3木曜日：午後1時30分～ 尾西南部生涯学習センター
		イ エ ロ ー オ ー カ ー	毎月第1・3土曜日：午前9時30分～ 尾西南部生涯学習センター
		山 ぶ どう の 会	毎月第2・4木曜日：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター
	土 筆 の 会	毎月第1・3火曜日：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター	
	い ぶ き	毎月第2・4月曜日：午後1時30分～ 尾西生涯学習センター	
	タ ン ボ ボ の 会	毎月第2・4火曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター	
	デ ザ イン ・ 工 芸 彫 塑 部 門	一宮美術作家協会/デザイン・工芸部・彫塑部	事務局へお問合せください。
		陶 順 会	毎週月・火・金・土曜日：午前9時～ 朝日老人福祉センター
		楽 陶 会	毎月第1・3木曜日：午後1時～ 講師宅
		美 省 会	毎月第1・3日曜日：午後1時～ 講師宅
	書 部 門	尾 張 も め ん 伝 承 会	毎月第4日曜日：午後1時～ 産業体育館
		社団法人中部日本書道会 一宮支部	事務局へお問合せください。
		麗 筆 会	事務局へお問合せください。
	写 真 部 門	象 友 会	毎月第1・3水曜日：午前10時～、土曜日：午後1時30分～ 吉田公民館
		日中古墨書道友好協会尾張支部	毎週日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
		一 宮 写 真 協 会	事務局へお問合せください。
		中 日 真 澄 ク ラ ブ	事務局へお問合せください。
	音 楽 部	邦 楽 部 門	一 宮 三 曲 協 会
三 山 会			月2回土・日曜日：午後2時～ 講師宅
里 音 会			毎週土曜日：午後1時～ 金剛幼稚園
す み れ 箏 の 会			毎週月～金曜日：午前9時30分～ 講師宅
美 友 会			毎週水曜日：午後1時～ 講師宅
藤 乃 会 尾 西 教 室			(随時) 講師宅
尾 西 三 味 線 熹 世 智 会			毎月第1・3木曜日：午前9時～、第2・4木曜日：午前11時～ 小信中島つとひの里
津 軽 三 味 線 恋 糸		(随時) 講師宅	
謡 曲 部 門	相 生 ・ 中 日 文 化 会	毎月第2・4木曜日：午後6時～ ルポテンサンビル	
い づ み 会	毎週土曜日：午後1時～ 奥公民館		

部	部 門	団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所	
音楽部	謡曲部門	竹石会	毎月第1・3金曜日：午後1時～ 真清田神社	
		市職クラブ・緑風会	毎週火曜日：午後6時～ その他、事務局へお問合せください。	
		誠韻会	毎月第2・4月曜日：午前9時30分～ 河端公民館、毎月第1・3水曜日：午後1時30分～ 島村公民館	
		清宵会・蘇水会	毎週月曜日：午後1時～ 宮西公民館	
		丹謡・萩謡会	毎週土曜日：午後6時30分～ 丹陽公民館	
		紅韻会	毎週月・木・土曜日：午前10時～ 講師宅	
	吟剣詩舞部門	一宮吟剣詩舞協会	事務局へお問合せください。	
		雅芳流嶋邦吟詠会	毎週金曜日：午後7時～ 尾西生涯学習センター、毎週土曜日：午前10時～ 尾西文化広場	
		神道一刀流尾西剣詩舞会	毎週金曜日：午後1時～ 小信中島つどの里 第4土曜日：午後7時～ 生涯学習センター西館	
		剣詩舞道柳翠会	毎週金曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター西館 他	
		濃尾吟詠会	毎週水曜日：午後2時～ 木曾川公民館	
	声乐・合唱部門	曾山流樹徳吟詠会 山瑩会	週1回：午後1時～ 山瑩会教室他	
		一宮音楽家協会	事務局へお問合せください。	
		一宮合唱協会	事務局へお問合せください。	
		一宮第九をうたう会	毎週火曜日：午後7時～ カトリック一宮教会	
		尾西混声合唱団	月3回土曜日：午後7時～ 尾西生涯学習センター西館 他	
		女声合唱団 蓮	毎週土曜日：午後1時30分～ 尾西生涯学習センター西館	
		長澤民謡会	毎週月～土曜日：講師宅 その他、事務局へお問合せください。	
		佳富士会	毎月第2・4日曜日：午後7時～ 尾西生涯学習センター	
		尾西民謡熹世智会	毎月第4木曜日：午後7時～ 小信中島つどの里	
		器楽部門	琴伝流大正琴琴稀会	毎週金・土曜日：午後1時～ 尾西文化広場
			琴伝流大正琴琴女会	毎週火曜日：午前10時～ 午後1時～、毎週金曜日：午前10時～ その他、講師宅事務局へお問合せください。
			大正琴カトレヤ会	月3回土曜日：午前9時～ 尾西生涯学習センター
	琴生流大正琴さつき会		毎月第2・4土曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター	
	清の琴・ロマンスハーブ		隔週火曜日：午後1時～、隔週木曜日：午前9時45分～ 尾西南部生涯学習センター	
	安美&コンプリオ		日曜日 その他、事務局へお問合せください。	
	木曾川ライトソングクラブ		毎月第1・3土曜日：午後7時～ 木曾川公民館	
	琴生流大正琴藤明の会		毎月第2・4火曜日：午後1時30分～ 一宮スポーツ文化センター	
	旭雅楽会		第2日曜日：午後5時30分～ 講師宅 他	
	吹奏楽・管弦楽部門		一宮市民吹奏楽団	毎週土曜日：午後5時～ 一宮スポーツ文化センター
		尾西ウィンドオーケストラ	毎週日曜日：午後5時～ 尾西生涯学習センター西館	
		一宮シティー室内管弦楽団	毎月第2土曜日：午後6時30分～ 中日新聞一宮支局、毎月第4日曜日：午後1時30分～ 大森石油練習場	
	芸能部	舞踊部門	一宮舞踊協会	事務局へお問合せください。
			ハワイアン・フラ	毎週火曜日：午前9時～、毎週水曜日：午後5時～ 尾西生涯学習センター西館
			新舞踊あすか会	毎週水曜日：午後6時～ 起つどの里
			坂東流百喜久会	毎週火曜日：午前9時～ 尾西生涯学習センター
			百の会	毎週土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター
			扇寿々々会	毎週月・土曜日：午後7時～ 向山公民館
			芳美の会	毎週木曜日：午前9時～ 大志公民館
		結びの会	毎月第1・3火曜日：午後1時30分～ 尾西生涯学習センター	
		芸能部門	一宮民俗芸能連盟	事務局へお問合せください。
		社会文化部	茶道部門	同派会
	弥生会			事務局へお問合せください。
	茶道表千家			事務局へお問合せください。
	茶道裏千家			事務局へお問合せください。
尾西玉香会	月各3回 日曜日：午前9時～、火曜日：午後2時～ 講師宅他			
尾西表千家木野(文)会	月3回 土曜日：午後2時～ 講師宅他			
尾西緑寿会	月3回 金曜日：午後4時～、土曜日：午後1時30分～ 講師宅			
尾西清真会	毎週月・火曜日：午後1時～ 講師宅他			
表千家尾西古田社中	毎週月曜日：午後6時～ 尾西生涯学習センター、土曜日：午後2時～ 講師宅			
裏千家尾西杉本社中	毎週月・水曜日：午後7時～、土曜日：午前10時～ 講師宅			
華道部門	松風会		毎週水曜日：午後5時～ 講師宅	
	一宮華道連盟		事務局へお問合せください。	
	尾西玉香会		月各3回 日曜日：午前9時～、火曜日：午後2時～ 講師宅他	
	尾西小原流算社中		月3回 金曜日：午後4時～、土曜日：午後1時30分～ 講師宅	
	尾西池坊木野(文)会		月3回 土曜日：午後2時～ 講師宅	
	小原流尾西古田社中		毎週金曜日：午後6時～ 尾西生涯学習センター、金曜日：午前10時～ 土曜日：午後2時～ 講師宅	
社会文化部門	尾西花紘会		毎月第4月曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター他	
	一宮アーティフィシャルフラワー協会 鶴の会		毎週火曜日：午前10時～ 一宮スポーツ文化センター	
	一宮アーティフィシャルフラワー協会 風雅の会		毎月第2・4火曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター	
	一宮アーティフィシャルフラワー協会 彩華の会		毎月第1・3火曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター	
	歌楽会		毎月第3日曜日：午後7時～ 代表者宅	
	若芽会		月2回(不定期) 事務局へお問合せください。	
花千会	毎月第1・3水曜日、毎月第1・3金曜日 午後1時30分～ 講師宅			

いちのみや文芸 2011 作品募集

1、募集種目

① 随想・随筆 一人一編

(本文は、4000字詰
原稿用紙3枚以内)

② 現代詩 一人一編

(本文は、4000字詰
原稿用紙3枚以内)

③ 漢詩 絶句、一人2首以内

④ 短歌 一人8首以内

⑤ 俳句 一人10句以内

⑥ 川柳 一人10句以内

⑦ 狂俳 一人10句以内

⑧ 応募上の注意

⑨ 応募は、一人3種目以内と
します。

⑩ 用紙は、A4判の400字
詰原稿用紙とし、種目ごと
に別紙を用いてください。

⑪ フォープロなどの機器を使用
する場合は、A4判白無地
の用紙を横長に用い、20字
×20行で印字してください。

⑫ 原稿は縦書きとし、文字は
正確に読みやすく書いてく
ださい。

⑬ 原稿には、欄外に種目を記
入してください。その他に
氏名、号(必要に応じて)、
年齢、住所(番地まで正確
に)、郵便番号、電話番号
を記入してください。なお、
氏名および号には振り仮名
をつけてください。

⑭ 応募原稿は返却しません。

3、応募資格

市内在住・在勤または一宮
市芸術文化協会加入団体に所
属している人

4、作品の採否

応募作品の採否については、
編集委員が選者となり、編集
委員会で決定します。

5、応募方法

〒493-8511 (住所記載不要)
一宮市芸術文化協会事務局
『いちのみや文芸』係

(一宮市教育委員会 生涯学
習課内)までお送りください。
7月1日(金)必着

6、発刊予定

平成23年10月15日(土)
1冊800円(予定)

8/21

正午～

一宮市民会館

**入場
無料**

一宮民俗芸能連盟の加盟団体が市内各地に
伝わる民俗芸能を上演します。



いちのみや民俗芸能のつどい



【出演予定団体】 石刀祭山車保存会、北方ばしょう踊保存会、一宮真清伶人会
馬寄木遣音頭保存会、宮後住吉踊保存会、島文楽保存会、機織唄保存会
馬場獅子屋形打囃子保存会、瀬部山車・白台祭保存会の皆さん

「自作の器で食することの嬉しさ」「花器に生けられた花が一層美しさを発揮したときの喜び」「静かな茶室の中で茶碗がキラリと存在感を示したときの達成感」陶芸はこのような普段では味わうことができない経験をさせてくれます。

陶順会は渡辺順先生の指導のもと、陶芸をこよなく愛する仲間が集まり、平成7年に発足いたしました。渡辺先生はご高齢によりご退任されましたが、自主運営により活動を続け、よりよい作品を仕上げるために、互いに研鑽を積み重ね、個性ある作品に挑戦しています。

会員は37歳から77歳の19名で、多彩な職業の方々に構成されています。現在、毎週火曜日と土曜日の2グループに分かれて朝日老人福祉センターで活動しています。

私達の教室では、粘土成型はもちろん、その後の素焼、焼成、施釉、窯焼成、仕上げまで自分達の手で行っています。全工程を自分達で行

うことによって陶芸の醍醐味を味わうことができるところが、陶順会の特徴であり、自慢になります。

発表の場は年1回の作品展のほか、個展も各自活発に実施しております。

少しでも陶芸の経験のある方は、ぜひ私達の仲間になって一緒に活動してみませんか。一同心よりお待ちしております。



◀ 教室にて

【問合せ先】金澤 保 ☎69-3240

誠諷会は、浅井町で活動している河端謡曲会と葉栗で活動している島村謡曲会の二つの謡曲好きな団体が集まってできた会です。

能は室町時代に観阿弥・世阿弥らによって大成されました。その能の中の笛・鼓・大鼓・太鼓を除いて、実際に演技を行う役のシテ・ワキ・ツレのセリフと場面や情景が描写され劇の進行が語られる地謡じうたいで物語を進めるのが、素謡すうたい・謡曲です。室町時代の能は源氏物語・源平合戦物が多く、葵上あいのうえ・通小町かよいこまち・蝉丸せみまる・杜若かきつばた・羽衣はごろも・俊寛しゆんかん・敦盛あつもり・安宅あたくし・小袖曾我こそでそがなど約二百番あります。

河端謡曲会は河端公民館で月2回月曜日に、島村謡曲会は島村公民館で月2回水曜日に練習をしています。正月には河端公民館の隣にある河俣上神社で奉納謡を行い、公民館にて一日中、初謡を行います。

誠諷会としては島村公民館で年2回、謡曲会を行います。また、毎年4月、10月に市内の謡

曲団体が一同に集まる一宮謡曲大会にも参加し、一日かけて謡曲の発表会を行います。

古文・和歌の入った名文に節を付け、謡曲の世界を思い謡うことは、謡ができた当時の世界を体験することができます。また、謡曲は腹式で大きな声で謡うので、日頃のストレス発散にもなり健康にも良いと言われていています。ぜひ私達と一緒に楽しく謡ってみませんか。



◀ 女性だけの素謡

【問合せ先】三輪 庄司 ☎71-6745

加入団体の紹介

裏千家 尾西杉本社中 (うらせんけ びさいすぎもとしゃちゅう)

(茶道部門)

花興しの雨、花散らしの雨が通り過ぎると、この時期、毎年木々が一斉に芽を吹き、薄黄緑色の葉が嵐かと思惑う強い風にも負けず、一生懸命木にしがみついています。二葉が四ツ葉になり大きく育ち、やがて山をも青々と埋め尽くしてしまいます。

裏千家尾西杉本社中は、先輩後輩の差はありますが、同じ事を学び、同じように感銘を受け、茶道という素晴らしい日本の文化を途絶えさせることなく、ずっと後世に伝えていきたいと考えております。

私達は、毎週月曜日、水曜日の夜と、土曜日の午前に講師の自宅にて勉強しています。時には日頃の勉強の成果を披露し、沢山の方々と触れ合い、心を通わせあったり、日頃の御無沙汰をお詫びし合ったりと人の和を広げてまいりました。毎年6月には三条にあります御裳神社で開催される尾西あじさいまつりにお茶席を設け

て興じています。他にも裏千家淡交会の催し、一宮芸術文化協会の催し、華道連盟の催し等、幅広く活躍参加させていただいております。

茶道は、ほのほのと温かく、時に空虚な心の穴をも塞いでくれます。私達はこれからも、この古くからの伝統を引き継いだ、今なお新しい日本の文化の茶道を守ってまいりたいと思っています。



◀ 尾西あじさいまつりにて

【問合せ先】 杉本 昌美 ☎62-9012

加入団体の紹介

百の会 (もものかい)

(舞踊部門)

雀、百まで踊り忘れずと言いますが、百歳になるまで、元気で踊る事が出来たらいいとの願いを込めて、百(もも)の会として発足し、早いもので7年目を迎えることが出来ました。

私どもは、日本舞踊坂東流、十代目坂東三津五郎家元の教えのもと、心と技、歌舞伎舞踊を中心として稽古をしています。

日本舞踊の五代流派にも数えられる坂東流の特徴は、単に踊るだけではなく、作品を常に演劇的にとらえ“演じる”ことを大切に扱うところにあります。また、その芸風は折り目正しくいたずらに時流に流されないところが最大の魅力といえます。

行事としては、舞初め、ゆかたおどり、尾西芸能祭などへの参加があります。毎年2月には、米寿、傘寿、喜寿を迎えられた会員を祝う舞初めを行います。「百歳まで頑張りましょう」と思いを新たに踊ります。

また、9月25日(日)には同じ坂東流の団体と尾西市民会館にて発表会を開催する予定で、稽古に励んでいます。

現在、毎週土曜日の午後1時より尾西生涯学習センターの和室にて稽古をしています。

興味のある方はぜひ一度、舞踊の世界に浸ってみませんか。皆様のお越しをお待ちしています。



◀ 平成23年度舞初め(寿の会)

【問合せ先】 名和 由喜子 ☎62-3869

文化情報



「work. 11-3」 増田和臣

《市および市内公共施設の催し》

一宮市博物館

〒463-2115

企画展「硯ことはじめ〜文房具のルーツをさぐる〜」

日時 6月18日(土)〜7月31日(日)

午前9時30分〜午後5時
(入館は午後4時30分まで、月曜休館、以下同じ)

内容 尾張・美濃地域で出土する古代から現代に至るまでの硯の変化を南蛮文化にかかわる文房具や現代の伝統工芸などとともに紹介します。

観覧料 一般 2000円

高大生 1000円

小中生 500円

※市内小中生・65歳以上無料

(以下同じ)

「2011一宮美術作家協会展」

日時 9月3日(土)〜9月18日(日)

午前9時30分〜午後5時

内容 一宮美術作家協会会員による最新の発想でイメージの試作を展開した絵画・平面彫塑・立体・デザイン、工芸の力作を展示します。

「二宮写真協会展」

日時 9月22日(木)〜10月2日(日)

午前9時30分〜午後5時

内容 感性に裏打ちされた表現力で、熱い思いを込めた作品を展示します。

三岸節子記念美術館

〒632-892

企画展「夏休みの美術館

稲葉佳子展 ―夏に舞う―

日時 7月16日(土)〜8月14日(日)

午前9時〜午後5時

(入館は午後4時30分まで、月曜及び祝日の翌日休館、以下同じ)

内容 様々な繊維素材を用いたフアイバーアート作品を長年制作している稲葉佳子氏による展覧会で、真綿を用いた新作を展示します。

観覧料 一般 3200円

高大生 2100円

※小中生・65歳以上無料

「稲葉佳子展」関連事業

アーティストトーク

日時 7月30日(土)

午後2時〜午後3時30分

内容 作家による作品解説を開催します。

※要企画展観覧券・申込不要

朗読

日時 8月7日(日)

午後5時30分〜

内容 展覧会会場内で朗読会を開催します。

定員 80名

入場券 6月28日(火)より美術館受付にて販売。1,0000円

(企画展・常設展の観覧料含む)

※開催日当日、午後3時より整理券配布

常設展「三岸節子 色彩の魔術師」

日時 7月20日(水)〜10月2日(日)

午前9時〜午後5時

内容 「自分には持って生まれた生来の色がある」とし、その色により独自の色彩感覚を展開した作品をご紹介します。

観覧料 一般 3200円

高大生 2100円

小中生 1100円

※市内小中生・65歳以上無料

こどもミュージアム「あいにきたよ！節子さん。」プロジェクト

日時 7月20日(水)〜8月31日(水)

午前9時〜午後5時

内容 ①クラフトプログラム
「みるみる道具箱」

作品を見ることを楽しくするクラフトキットやクイズ&スタンプリーに挑戦します。※参加料無料

②ワークショッププログラム
「こどものアトリエ」
ベストセレクトション5

美術家の山口百子さんと、これまでに楽しんだワークショップからベストセレクトション5を開催します。

(1)「べちゃ・絵」

7/30(土)・8/10(水)

日時 ②「この味かける。」

：8 / 4(木)

(3)「発見！つくってほって
ヒミツの化石」

：8 / 7(日)

(4)「星のすむ家」

：7 / 30(土)・8 / 10(水)

(5)「あなたの肖像」

：8 / 16(火)

申込 ③「往復はがき」か「FAX」に

必要事項を記入の上、各日
程の10日前までに美術館へ。

※要参加費、定員あり

尾西歴史民俗資料館

☎(62)9711

企画展「実習生による企画展」

日時 ④8月9日(火)～9月4日(日)

午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで、
月曜休館)

内容 ⑤博物館学芸員資格取得をめ

ざす大学4年生の実習生に
より館蔵品を紹介します。

観覧料 ⑥無料

青年の家

☎(73)2400

「サマーフェスティバル・盆踊り
のたび」

日時 ⑦7月2日(土)

午後5時30分～8時30分

7月3日(日)

午後5時30分～8時

内容 ⑧盆踊り、おもちゃ、飲み物

の販売他

※参加無料

一宮市民会館

☎(71)2021

138 映画鑑賞会「河童のクウと
夏休み」

日時 ⑨7月24日(日)

午後2時～

(開場は30分前)

入場料 ⑩500円(全席自由)

芸能生活50周年・ソロ活動40周年
記念堺正章コンサート スペシャ
ルゲストムッシュユカまやつ

日時 ⑪9月18日(日)

午後4時30分～

(開場は30分前)

入場料 ⑫S席7,500円

A席6,500円

※全席指定・未就学児入場不可

一宮市尾西市民会館

☎(62)8222

138 映画鑑賞会

「食べて祈って恋をして」

日時 ⑬8月27日(土)

午後3時30分～

(開場は30分前)

入場料 ⑭前売500円

当日800円(全席自由)

企画政策課

☎(28)8952

「あいち国際女性映画祭2011」

日時 ⑮9月11日(日) 時間未定

会場 ⑯一宮市尾西市民会館

内容 ⑰女性と男性の相互理解など

をテーマとした海外の女性

監督作品を上映することも

に、監督や出演者とのゲス

トトークを行います。

※入場料などの詳しい内容につい
ては、広報一宮8月号に掲載しま

すので、ご参照ください。

一宮市

芸術文化協会

加入団体の

催し

『市民川柳教室』

【問合せ先】一宮川柳社

☎(45)8045

日時 ⑲6月26日(日)・7月24日(日)・

8月28日(日)・9月25日(日)

午後1時～4時30分

会場 ⑳一宮スポーツ文化センター

内容 ㉑自由吟および課題吟を一宮

川柳社委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料 ㉒無料

申込み ㉓当日直接会場

『市民俳句教室』

【問合せ先】一宮市民俳句教室

☎(73)5504

日時 ㉔6月26日(日)・8月28日(日)・

9月25日(日)

午後1時～4時30分

会場 ㉕一宮スポーツ文化センター

内容 ㉖当季雑詠3句を一宮市民俳

句教室委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料 ㉗無料

申込み ㉘当日直接会場

『市民短歌教室』

【問合せ先】真清短歌会

☎(62)4654

日時 ㉙7月10日(日)・8月14日(日)・

9月11日(日)

午後1時〜4時30分

会場▼一宮スポーツ文化センター
内容▼真清短歌会委員により
実作指導します。
(初心者歓迎)

参加料▼無料
申込み▼当日直接会場

『狂俳月例会』

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎(45)6702

日時▼8月13日(土)・9月10日

(土) 午後1時〜

会場▼葉栗公民館

内容▼各自10句持参、互選により優秀作を記録に残します。(初心者歓迎)

参加料▼無料
申込み▼当日直接会場

『おりもの感謝祭 一宮七夕まつり 第39回学生書道展・第18回書道連盟選抜作品展』

【問合せ先 一宮書道連盟】

☎(62)1841

日時▼7月16日(土)

午後1時〜4時

7月17日(日)

午前10時〜午後4時

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼上位作品と役員、指導

者の作品を展示。

入場料▼無料

『一宮市民吹奏楽団レインボーコンサート2011』

(特別出演 一宮マゼーズ・エコー)

【問合せ先 一宮市民吹奏楽団】

☎(44)9987

日時▼7月3日(日)

午後1時30分〜3時30分

※開場は開演の30分前

会場▼一宮市民会館

入場料▼500円

前売400円

『七夕まつりコンサート』

【問合せ先 一宮市民吹奏楽団】

☎(44)9987

日時▼7月31日(日)

午後4時30分〜5時30分

(予定)

会場▼真清田神社特設舞台

観覧料▼無料

『こま希久会 ゆかた会』

【問合せ先 一宮舞踊協会】

☎(45)5498

日時▼7月31日(日)

正午〜午後3時30分

会場▼アイプラザ一宮

内容▼日舞発表会

入場料▼無料

『黒岩山車保存会 川祭』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(84)0013

日時▼8月6日(土) 午後7時〜

会場▼石刀神社(浅井町黒石)

内容▼わら舟を乗せた山車に

提灯を飾りつけ、お囃

子とともに練り歩きま

す。

『島文楽保存会 虫干し』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(84)0013

日時▼8月7日(日) 午前9時〜

会場▼島村公民館

(島村字岩畑)

内容▼市の有形民俗文化財で

ある島村地区の文楽人

形の虫干しをします。

『瀬部山車・白台祭保存会 白台祭』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(84)0013

日時▼8月16日(土)

午後6時30分〜

会場▼八剣社(瀬部字大門)

内容▼山車の上に提灯をかか

げ、笛や太鼓のお囃子

に合わせて境内をねり

歩きます。

『第一回 雅楽フェスティバル 越天楽を楽しもう』

【問合せ先 旭雅楽会】

☎(64)9963

日時▼6月25日(土)

午後1時30分〜

※開場は開演30分前

会場▼一宮市尾西市民会館

内容▼雅楽の有名な演目であ

る越天楽を演奏します。

入場料▼無料(要整理券)

この『加入団体の催し』欄に 情報を掲載しませんか？

発行月3・6・9・12月の前月1日までに、必要事項【①行事名
②団体名 ③問合せ先電話番号 ④日時 ⑤会場】を任意の
様式にて記入の上、下記の事務局までご提出ください。

事務局 〒493-8511
一宮市芸術文化協会事務局(住所不要)
または FAX 0586-86-1809



[題 字] 武 山 翠 屋
[編集・発行] 一宮市芸術文化協会

[連絡先] 一宮市芸術文化協会事務局 (市教育委員会生涯学習課内)
〒493-8511 愛知県一宮市木曾川町内割田一の通り27番地
TEL 0586-84-0013 / FAX 0586-86-1809